

第3回FDセミナーのアンケート抜粋

河合塾 教育研究部

第3回FDセミナーのコンテンツに対する参加者の評価

回 答	第1部		第2部		第3部		第4部	
	回答 (件)	構成比 (%)	回答 (件)	構成比 (%)	回答 (件)	構成比 (%)	回答 (件)	構成比 (%)
1 大変参考になった	40	80	39	78	31	62	23	46
2 参考になった	9	18	10	20	16	32	15	30
3 どちらともいえない	1	2	0	0	2	4	6	12
4 あまり参考にならなかった	0	0	0	0	0	0	2	4
5 参考にならなかった	0	0	0	0	1	2	0	0
6 無回答	0	0	1	2	0	0	4	8
合 計	50	100	50	100	50	100	50	100

「第1部 様々な教育観と指導法／プロセスライティングとユニット」の参加者評価コメント

- ・ どちらかというと古い教育を受けた世代の私にとって、気づかせる授業、気づき合う授業方法を提示していただいたのはとても役に立ちました。4月まで少し時間があるので、頑張って取り入れて、授業を少し変えてみたいと思います。
- ・ ライティングを作文練習と言う狭いレンジで考えがちであったことに気付け、大変有意義でした。
- ・ チェック&シェアによって俯瞰的に自分の授業を見ることができた。
- ・ 教育観の整理が今回のセミナーからできた。教育観の共有という意味では大切な作業であることからもう少し時間をかけてやりたかった。
- ・ 指導法はすぐにでも応用できそう。
- ・ 貴重な教材サンプルに基づいた実戦的な(しかもきわめて成功した)授業運営について知ることができたから。
- ・ 授業担当者で課題を分担作成することのメリットは非常によくわかりました。
- ・ 漠然とあった問題意識や方法論が言語化されると同時に新たな知見を得る事が出来た。
- ・ 教育法の共通化ではなく教育観の共通化が大切であるという点に象徴されている。大人数の教員での指導方針に気付くことができた点がよかったから。
- ・ ライティングと思考プロセスは接合できることがわかった。15回の講義回数にとらわれず、ユニットとして自分でマネジメントできる視点を得た。
- ・ プロセスライティングとユニットの考え方は、授業設計の敷居を下げることに役立つと思った。
- ・ 2014年度に1コマ15クラスを3名で担当する予定です。未だ全く何も具体化していませんでしたが、複数で教材を作り、共有する事のメリット、方法が具体的に分かり、今後の授業イメージができました。

「第2部 ライティング授業の設計」の参加者評価コメント

- ・ ただ書くのではなく、そこにたどりつくまでの様々な過程が参考になりました。
- ・ 体系的にライティングの流れや分類を知る事ができた。
- ・ 具体的にシラバスを作成するきっかけになり、他の皆様と討論できた事がよかった。
- ・ いつも思いつきで色々と考え、雑多なシラバスになってしまっていることに気づき、反省。
- ・ 4月から初めて文章化理論の授業を担当するのですが、この科目にGWを取り入れるという事は思い浮かばなかったので、新鮮な気持ちでどんな授業をやってみようかと考えることができました。
- ・ 具体的な例から、講義科目の改善のヒントを得た。
- ・ まさしく「アクティブラーニング」の実例を見ることができたような気がします。
- ・ 段階付けの方法、問題解決の方法など、必要性に気づきながら具体的な方法を模索していたので、今回の講義を受けて clear になりました。
- ・ これまでなんとなく書かせ、赤を入れ返す程度のことしかしていなかったが、評価基準を明らかにし、

チェックしていくことの必要性を知る事ができた。

- これまで自分の経験に基づいた授業設計だったものを理論に裏付けられた内容にブラッシュアップさせる大きな一歩になったと思います。
- グループワークの重要性が具体的に理解、体感できた。その成果にも触れることができた。
- 今まで孤立して一人で行っていた方法で一致する点があったのは心強い思いがしました。
- 教材の目的や手法の幅を学べたから。
- 具体例を交えながらでしたので、とても分かりやすく参考になりました。
- 担当授業の設計については、ほぼ1人でやっているの、他者、他大学での事例は大変ありがたいと思う。特に実態あるパッケージは嬉しい。
- 学生が文章を書けない教員がなげいていたが書く指導が不足していることがわかった。
- ライティングのリテラシーは思考、コミュニケーション、発表力に共通している。それは通常健康教育や保健指導の組み立てに使える。
- 詳しい授業設計の見本が今後の授業の組み立てに役にたっていた為。
- 色々な手法や気づき、注意点、アイデアを参考にして設計を進めたい。

「第3部 協働活動の手法紹介」の参加者評価コメント

- いつも一方的な授業だったのですが、学生の意欲を引き上げるために大変重要だと感じました。
- アップの作り方が刺激になった(授業中に文の書き方を体験させるやり方をこれまで知らなかった)。
- 最終的なワークがあつてよかった。
- ピアトークを体験する事ができた。
- ピアトークの具体的な方法がよくわかった。
- ”こんなところにもピアができる”と気づき、これから取り入れていく気が起きました。逃げていてはだめですね！だいたいわかりましたが、BSをもう少し深くやってみたくかったです。
- 文章表現編とは別に必修の1年ゼミ、2年ゼミを担当し、3年ではGWがメインとなるので、様々な手法を学生に体験させるのも面白そう。
- 単なるグループワークではいけないことを再認識した。
- ピアワークのワークショップ、かけ足でしたが面白かったです。KJ法、ジグソー学習法についてももう少し具体的な事例が知りたいと思いました。
- アイデア構想の段階など、様々な中間段階で学生にお互いにチェックさせるという発想に感心いたしました。早速取り入れようと思います。
- 自ら実践してみることで、アクティブラーニングの楽しさや有意性を知る事ができた。また新しい方法を知ることができた。
- 実践することでどのような点に注意すればよいかを知れたから。
- 実際に運営できる重要な体験であった。
- 問いを具体化させる過程にてピア・インタビューは組み込めそうだ。
- 協働活動の手法は奥が深いので第一ステップとして、大変参考になった。

「第4部 個別ワーク」の参加者評価コメント

- 他大学の先生方と意見交換が出来たので意義深かったです。
- 個別なので、参考と言うよりは「有意義」だった。
- 同じ立場で授業をしようと思っている先生の考えをしっかりと聞くことができたように思う。うまく実践されることを望む。自分の授業のようにわくわくした！
- 4月からの1年間のシラバスはもう変えられないので、1年間は手さぐりでの改変になりそうですが、その次の年度では、シラバスをがらりと変えてみるのもアリかもと思いました。
- 通常、シラバス作成は1人で行うものであり、独善的なものになりがちだが、客観的な意見を聞きながら再構成することができた。
- 他の先生方の授業策もきかせていただけたことは大いに参考になりました。
- 一日の内容をふりかえることができ、また、それを自分の問題としてフィードバックできたから。
- 自分の15回の授業のスジが整理されていないことが見直せた。

- ・ グループ内の話し合いの中からも多くのヒントをいただいた。
- ・ 実際にブレストを経験できてよかったです。久しぶりに学生の立場になれました。興味深かったです。
- ・ 具体的な授業改善の提案をいくつかもらった。
- ・ ブレイン・ストーミングと個別ワークは楽しかったです。文章表現法にすぐに役立つという印象ではなかったのですが、このようなワークを行うことで学生の一体化を作れることを知り参考になった。

本FDセミナー全体としての参加者満足度

選択肢	回答 (件)	構成比
1.大変満足した	41	82.0%
2.満足した	7	14.0%
3.どちらともいえない	0	0.0%
4.不満である	0	0.0%
5 大変不満である	0	0.0%
6.無回答	2	4.0%
合 計	50	100.0%

- ・ 専門家の方々や他の先生方と意見交換、情報交換が出来て、所年次教育担当者の孤独感が解消されました。
- ・ 資料がとても充実していますし、グループ内で実践を紹介し合えたので。京大のフォーラムに続けて下さって参加しやすかったのだ。
- ・ てんこ盛りで疲れたが楽しかった。
- ・ 色々な大学の同じ科目の担当者が普段考えられる事をお聞きする良い機会となりました。
- ・ 自信を持って授業に臨めそうです。
- ・ 全く未知の領域についての勉強だったので、これをいい機会に勉強していきたいです。
- ・ 本学教員を、来年度も参加させたい。
- ・ ライティング教育の有効な取り組みを数多く吸収することができたから。
- ・ 今まで気づかなかったり、見落としていたりした重要な点を確認できたから。
- ・ わかっていても使えていなかった手法の使い方を教えていただけて本当に勉強になりました。
- ・ 「これは個人作業だろう」という固定観念があった部分にも、ピア・レスポンスが使えるということがとても大きな収穫でした。
- ・ 大変収穫の多い内容でした。戻ってから、早速、シラバスを練りなおしたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 多くのことを学ぶことができ、参加して大変良かった。また、高い意識をもって頑張っておられる先生方がたくさんいることが励みになった。問題はそれをどのように実践していくかということなので、試行錯誤を繰り返しながら、より良い授業設計をしていきたいと思う。
- ・ 同じ問題に困っている先生方と情報共有できました。
- ・ 大変充実したセミナーであった。単に話を聴くだけではなく、セミナー自信がアクティブラーニングという点が素晴らしかった。
- ・ 大変満足しています。同じような志を持った先生方と交流できたこと、自分の立ち位置を確認できたこと、考え方や見方を教えて頂いたこと、本当に感謝しています。
- ・ 他の教員を誘えば良かったです。
- ・ 「協同学習」の手法を理論と実践を通して理解できたことは大きな収穫でした。